

名古屋学院大学創立五十周年記念式典 文部科学副大臣祝辞

本日、名古屋学院大学の創立五十周年記念式典が挙行されるに当たり、一言お祝いを申し上げます。

貴学は、名古屋学院の前身である名古屋英和学校を起源とし、昭和三十九年に経済学部のみ単科大学として名古屋学院大学を開学され、以来、学部・研究科の増設や教育・研究施設の充実を進められ、現在では六学部二研究科を擁する大学として、四万人以上の卒業生を輩出し、隆盛を見るに至っております。また、来たる平成二十七年には、新たに現代社会学部、国際文化学部を設置するとともに、スポーツ健康学部にはこどもスポーツ教育学科を設置される予定と伺っており、これまでの歴史と蓄積を礎に、更なる充実と新たな歴史を刻む門出に立たれましたことは、誠に喜ばしい限りです。

貴学は、名古屋英和学校を設置しアメリカ人宣教師のフレデリック・クライン博士によって掲げられた「敬神愛人」の教えを建学の精神とし、伝え続けてこられたと伺っております。こうした建学の精神を継承されてきたことは、貴学のこれまでの発展に御尽力された教職員の皆様、学生、保護者や同窓会の皆様をはじめ、関係各位のたゆみない御努力によるものであり、深く敬意を表します。

日本が、豊かで充実した国家として、今後も発展していくためには、優れた人材の育成と独創的な学術研究を進めていくことが大切です。知識基盤社会において、私立大学には、個性と特色ある教育研究の展開と社会貢献が求められております。

貴学におかれましては、こうした時代の要請を受け、「地（知）の拠点整備事業」において、名古屋市及び瀬戸市の企業や行政等と連携し、活発に事業を推進されておられると聞いております。そこでは、学年次に合わせた学生・教員全員参加の教育イベントと現場重視の調査・分析・提案を行う課題解決型授業を組み合わせる段階発展型カリキュラムを導入することで、地域の活性化を図る取組が行われております。地域を支え、社会の中で活躍する人材を育成するため、教職員の皆様が一丸となって取り組まれることを切に期待しております。

本日の栄えある記念式典を契機として、貴学が、これまで培われた伝統と実績を継承しつつ、充実した教育研究にその真価を一層発揮されますことを念願してやみません。

結びに、貴学の今後ますますの御発展と、御参会の皆様のご健勝を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

平成二十六年十月二十五日

文部科学副大臣 丹羽 秀樹